

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Nico			公表日		2025年 2月 17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	人数が多い時にはみんなでできる活動内容に変更し、スペースの取り合いにならないようにしています。	人数が多い際や工作と体を動かしたい等ばらつきが出た時には、もう少し広いといいと思う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用予定を早目に把握する事で、人員配置を考えています。	人員配置は適切だが、現場の状況によりもう少し職員の人数を増やしてほしいと感じる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		段差の角などにクッション素材のガードを付けています。階段や危険と感じる場所には職員が同行しています。	段差が多いため、危険と感じることがある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		窓も多く換気しやすい環境、部屋も宿題部屋と活動部屋があり、過ごしやすい環境になっていると思う。又、毎日の掃除で清潔にしている。	雨などで窓を閉める時には空気清浄機が欲しいと感じる。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		保護者様対応室を解放したり、敷地内の外でゆっくり過ごせるように環境設定をしています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月ミーティングや振り返りシートにて職員全員が参加しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表以外にも送迎時に保護者様とお話しさせていただき、その都度保護者様のご意向を職員全員にフィードバックしています。	お仕事等でタイミングが合わない保護者様のご意向の把握がなかなか難しい時があります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ほぼ毎日、前日の振り返りから支援の改善に繋がるように話し合いを行っています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		評価になるか不明だが、市の方が見に来られその時にアドバイスをいただいた。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修を受講した者が受講できなかった職員に把握してもらえるように書面にまとめられるようにしている。法人内の研修は全員参加できるようにしています。	研修を受講する機会がパートさんは時間外が多いため、全ての職員が研修を受講すべきだと思います。		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援の内容に沿った支援プログラム作成を行っている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		できる限り、利用時の様子や保護者様と連携を図り、意思疎通が難しいお子さまの意思を尊重できる計画作成ができるようにしている。	意思疎通が難しいお子さまの場合は保護者様からの情報が頼りになるため、発語が難しいお子さまに本当に合った計画なのか考えさせられることがある。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員で事前に話し合いを行い、計画作成を行っています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画を把握できていない職員へ声掛けを行い、把握してもらえるようにしています。	共有は行ってはいるが、全て把握しきれているかは疑問に思うこともある。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		長期・短期目標はケア記録に記載して職員全員が個々の目標を確認し、それに沿った記録が残るようにしています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人の希望や日々の様子、保護者や学校の担任の先生と連携を図り、その取り巻く環境を加味した上で支援内容の具体的な設定を行っている。	支援内容を設定しているが、「家族支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」を全て適切に設定していても、その時間や各機関、また保護者様の都合等により連携が難しいこともある。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		行っている。			

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		行事予定を作成し、公園以外での療育活動は職員が順番に担当する事で、固定化しないように、努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		状況に応じて支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援数日前から打ち合わせをし、利用者の特性や利用人数に応じて臨機応変に対応できるように連携をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		事業所のグループLINEを使用し、パートさんも共有事項や意見交換を確認・参加できるように努めています。	平日は送迎後に対面で話し合いをする時間が少なくなる。またパートさんは時間的に難しいと感じる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		必ず記録を取り、検証・改善に繋げているようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		利用者が目標を早く達成した場合や相談支援事業所、他事業所と連携を図った際に変更した方が良いと判断した際には見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		来所時から自立や日常生活における動作ができるような仕組みにしている。活動にも基本活動に沿って支援を行えるように努めています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自由時間は自己選択できるように声掛けや、決められない場合は選択肢を何個か用意して自身で決められるようにしています。	雨の時に選択肢が公園しかない場合に悩むことがある。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		状況を理解し参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携し、より良い支援が提供できるよう努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		利用予定日や送迎時間を各学校へお渡ししたり、送迎時の待ち合わせや子どもの状況に合わせて連絡調整や情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			児童発達支援事業所と情報共有を行う事はあがるが、保育所は今のところ該当なし。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			該当者なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて助言をいただけるようにしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			時間や保護者様のご意向もあり交流することは難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		できる限り参加できるように努めています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や電話にて共通理解が持てるようにしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		事業所から助言する事もあれば、市からの情報を印刷し、保護者様が参加できる研修等の情報提供をしています。	ご家庭の状況を全て把握することへの困難さを感じることもある。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		できる限り行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		送迎時や個別に本人の意思を聴取し、送迎時を利用して保護者様のご意向を確認できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		不在の多い保護者様にも事前に連絡を取り、説明できるようにしています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談ができない場合にはお手紙や電話にて助言できるようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会を望まれない方が多く、個別に必要に応じて交流する機会があったが、仕事等で難しいという意見がある中での開催を今後どうすべきかが課題です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情には迅速かつ丁寧な対応ができるように職員に共有し、早急に解決できるように努めています。	学年や特性によって子どもに周知できない場合が課題です。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		保護者様が活動内容やお子さまの様子を把握できるようにインスタやLINEにて情報をお伝えできるようにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員全員が意識して取り扱いを行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援で意思疎通が図れるように工夫しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		個人情報の関係上難しい面もあるが、講師依頼で来ていただいたことはあります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルに基づいて訓練する旨を行事予定やお手紙にて周知し、リアリティある訓練ができるように心がけています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的な避難訓練を行えるよう行事予定を組むようにしています。	救出までを想定していなかったため、今後は救出も含めた訓練を行うことが課題です。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		アセスメントシートにて把握しているが、変更等は連絡帳や電話にて状況確認できるように努めています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーのあるお子さまには、おやつを持参して頂き、他と混ざらないように努めています。	クッキングなどは保護者様に内容成分を確認していただき、お手数をお掛けしてしまうことがあり、アレルギーの知識を深めていく必要性を感じます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		直ぐ対応できるように訓練を行い、消防署の救命講習を受講するなど緊急時に備えた取り組みを行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ご家族と連携を図ることができるように努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		その都度、共有し話し合いを行うようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員が参加できるように努めています。また、研修報告書にて各自がしっかりと把握できているか確認をしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時にやむを得ない場合には身体拘束を行う事がある旨を伝え、必要な場合には保護者様にて了承を得るようにしています。	記載については該当者がいない。	